



2020 年 6 月 28 日

相模原市少年野球協会

## 感染予防対策ガイドライン

### 【はじめに】

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大を予防するため制定するものであり、大会参加者(応援者含む)皆さまへガイドラインへのご理解とご協力を求めるものです。

なお、大会期間中において、協力を得られない参加者(応援者含む)については、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

神奈川県および相模原市の方針に従うことを前提に、感染予防対策に配慮しながら、現段階で得られている知見等に基づき本ガイドラインを作成しており、今後の知見集積及び他地域の感染状況を踏まえ、本ガイドラインは見直すことがあります。

### 【チームの活動について】

- ・ 小規模 最大 50 人程度を上限として、感染症対策、3 密を避けること等を徹底すること。  
(人との距離を保つ、近距離での発声を避ける、活動前後の手洗い励行等)
- ・ 呼気が激しくなる運動や大声を出すような活動は避けること。
- ・ 用具等の消毒については、可能な限り消毒すること。なお、消毒が難しい用具等もあると考えられるので、手洗いを徹底させることで感染症を予防すること。

### 【試合について】

- ・ ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督 30 番、コーチ 29 番・28 番および選手 20 名以内と、スコアラー 1 名、3 密・熱中症対策員 2 名(女性が相応しい)とする。
- ・ ベンチ等球場内グラウンド設備の消毒を可能な限り実施し、チーム入れ替え時に密集とならないよう、十分に試合間隔をあけることとする。
- ・ 密を避けるために試合間隔を空けることから、試合時間、試合回数は制限される場合がある。
- ・ 試合前後は手洗いを徹底させることで感染症を予防すること。
- ・ 試合前後の整列はキャプテン同士とし、選手は省略する。
- ・ ベンチ内でのメガホン使用を禁止する。
- ・ タイムを取って指示する場合は 30 秒以内とする。
- ・ キャッチャーマスク、ヘルメット、バット等は共用せず、使用前後に消毒すること。仕方無く共用する場合は使用前後に手洗いをする。
- ・ 同一容器を複数人で使用しないこと。(ウォータージャグ、滑り止め剤等)
- ・ 投手の投球制限は、昨年同様 1 日 7 イニング以内(3 年生以下は 5 イニング)を適用する。



#### 【 感染予防対策 】

- ・ 発熱(37.5℃以上)、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。また、14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・ 選手、チーム関係者、役員、審判員、応援者は会場に入る際、必ずマスクを着用すること。  
また、試合前の攻守決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行うこと。
- ・ 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行をおこなうこと。
- ・ 大会当日、参加者は検温を実施し会場へ来ることとし、チーム代表者は参加者全員(応援者含む)の健康状態を確認し、健康チェックシートを大会本部へ提出すること。
- ・ 屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・ 感染者が発生した場合には、大会を即中止とする。
- ・ 大会参加者(応援者含む)に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する。
- ・ 選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは禁止とする。
- ・ 競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮すること。
- ・ 肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。
- ・ ゴミは各自持ち帰ること。
- ・ 応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとで応援者に注意喚起を行うこと。なお、運営側でも、入口などに貼り紙を行ったり、放送による呼びかけを実施したりします。
- ・ 応援者はメガホンの使用を禁止する。また、大声での応援も自粛すること。

以上